

改訂により新たに選定されたもの（主なもの）

〔 植 物 〕

トサオトギリ （Aランク）

- ・丘陵地の岩場に生育するオトギリソウ科の多年草。高さは15-75 cmになる。茎や花弁の縁にある黒い斑点が特徴
- ・全国的にみても確認事例は少ない。県内では播磨東部の生育地1か所のみ。

ホソバナコバイモ （Aランク）

- ・ユリ科に属し、山地の林床に生育する多年草。茎の高さは10～20cm。茎の先端に1個の花を下向きにつける。
- ・本州（近畿以西）、九州北部に分布。県内では播磨西部の生育地1か所のみ知られている。

〔 蘚苔類 〕

ヒメミズゴケ （Aランク）

- ・生育環境は低山地から亜高山帯の湿原
- ・北海道、本州に分布
- ・近畿地方唯一の産地である但馬地域の生育地では、近年乾燥化が進み、生育量が減少しつつある。

〔 鳥 類 〕

コチドリ （要注目）

- ・チドリ類で最も小さい。
- ・ユ・ラシア大陸で主に繁殖し、アフリカ、南アジアから東南アジアなどで越冬する。日本には夏鳥として渡来し、繁殖する。
- ・兵庫県では生息（繁殖）環境である広範囲な砂れき地があった河川敷や海岸の整備による人工化にともない、近年減少傾向にある。

[魚 類]

ジュズカケハゼ (Aランク)

- ・ハゼの仲間。全長5 cmほど。河川の中・下流域や湖沼に生息。
- ・県下では但馬地域で確認されているのみ。

[昆 虫]

モ - トナイトトンボ (Bランク)

- ・平地、丘陵地の丈の低い草の繁茂した湿地や休耕田に生息。
- ・オスは腹部(尾の部分)が鮮やかなオレンジ色をしている。
- ・県内でも生息地は減少しており、確認例は少ない。

クツワムシ (Cランク)

- ・文部省唱歌でも知られる。夏から秋にかけて出現する。
- ・平地～低山地の林縁の低木や丈の高い草地に生息
- ・本州(福島県以南)、四国、九州に分布。
- ・知名度は高いが、近年あまり見られなくなった。

[クモ類]

キノボリトタテグモ (Bランク)

- ・あまり日光の直射しない岩の壁面や、古木の樹皮のくぼみなどを利用して住居を作る。住居は長さ3 cmほどの円筒形で入口に片開きの扉をつける。
- ・全国的に減少傾向にある。

[貝 類]

ヨシダカワザンショウ (Aランク)

- ・殻高3ミリ程度。
- ・本州(東京湾以西)~九州西部に分布
- ・河口部周辺の潮上帯に生息する。
- ・県下では播磨東部地域にのみ生息が知られている。開発による生息環境の変化により、個体数が減少している。

[甲殻類]

ハクセンシオマネキ (Aランク)

- ・甲羅の幅は約2センチ。オスは左右どちらかに白い大きなハサミを持つのが特徴。
- ・オスが繁殖期にこの大きなハサミを揺らして求愛するさまが、白い扇子で潮を呼んでいるように見えることから「白扇潮招き」の名が付いたとされる。
- ・伊勢湾以西から九州に分布。
- ・内湾の河口の潮間帯上部付近で、泥の混じった砂地に巣穴を作る。
- ・産地に限られ、個体数も少ない。

[植物群落]

鉢伏高原の自然植生(養父郡関宮町) (Aランク)

- ・県下最大規模のススキ草原と各種の湿地植物群落がまとまって分布する。
- ・氷ノ山後山那岐山国定公園の特別地域になっている。

(参考) 湿地植物群落のうち、ヤマドリゼンマイとミツガシワの群落については、旧レッドデータブックで選定済(Aランク)